

平成8年度一般会計決算報告書

(1996年4月1日~1997年3月31日)

(単位:円)

収入総額	支出総額	差引残高
11,873,379	10,921,300	952,079

平成9年度一般会計予算

(1997年4月1日~1998年3月31日)

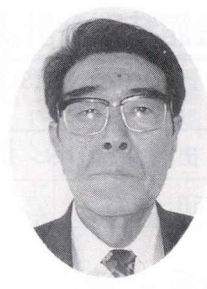
収入総額	支出総額	差引残高
12,054,079	12,054,079	0

収入の部

科 目	平成8年度決算額	平成9年度予算額
繰越金	592,150	952,079
正会員会費	8,754,250	8,820,000
特別会員会費	172,000	172,000
交付金・補助金	1,734,262	1,580,000
寄付金・受取利息	146,872	130,000
雑収入	473,845	400,000
繰入金	0	0
合 計	11,873,379	12,054,079

支出の部

科 目	平成8年度決算額	平成9年度予算額
経常費		
会議費	210,250	230,000
事務消耗品費	414,924	400,000
旅費・交通費	40,500	54,000
交際費	348,000	400,000
給料手当	855,000	900,000
防 災 費	398,983	400,000
通 信 費	10,300	10,500
自治会館償却引当金	0	100,000
雑 費	379,148	300,000
小 計	3,827,105	3,964,500
事業費		
町内会活動費	第1 236,577	260,000
	第2 219,007	260,000
	第3 239,994	260,000
	第4 237,978	260,000
総務委員会費	132,898	160,000
会計委員会費	215,758	270,000
文化厚生委員会費	849,305	870,000
広報委員会費	899,991	920,000
環境整備委員会費	326,235	340,000
衛生委員会費	129,967	135,000
ふれあい委員会費	279,864	290,000
消防委員会費	602,801	615,000
小 計	4,370,375	4,640,000
募金・団体助成及び分担金		
募金協賛金		
日本赤十字	737,060	743,000
赤い羽根	805,000	814,000
年末たすけあい	338,500	343,000
各種団体助成費・分担金		
子供会	175,000	175,000
青少年育成推進協	50,000	50,000
婦人会	60,000	60,000
寿 会	155,000	155,000
体育振興会	290,000	290,000
防犯協会	88,260	89,000
湘南地域づくり	25,000	25,000
小 計	2,723,820	2,744,000
予備費	0	705,579
合 計	10,921,300	12,054,079
繰越金	952,079	0
総 計	11,873,379	12,054,079



地域の活性化に向けて

香川自治会長 熊沢 藤俊

◆評議員会で事業計画と予算承認
4月19日、評議員会が開催され平成8年度の事業報告と決算報告がなされ、更に平成9年度の事業計画と予算案が全員一致で承認されました。従いまして本年度の事業活動が始動いたしました。昨年をふり振り返り、幾多の行事が、自治会会員の協力と役員・委員の懸命の努力により、スムーズに進行いたし

ましたことを心より感謝申しあげます。
また、特に各町内会では、各地域の特性を生かした防災計画の作成に取り組み、その成果が着々と実りつつあることに、深く敬意を表したいと存じます。
◆自治会の分離分割については、昨年同様かそれ以上の実績

◆昭和10年代の香川
香川自治会は、自治会の持つ本来の目的(第二条、本会は会員相互の親睦と文化的な生活向上をはかると共に、きまりを自主的に保持し、住民の福祉を増進することを目的とする)を充分こなし得るかどうかが、規模的に見て、甚だ疑問であり、改めて考えて見る必要があると思っております。

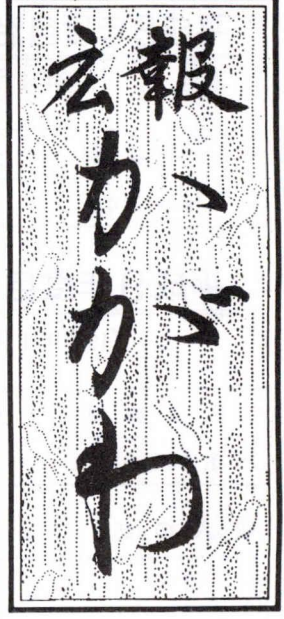
◆連帯意識の構築・定着方法を
ここにいう連帯観は、現在の自治会の目的、会員相互の親睦やきまりを自主的に保持しなどという目的観とは異なり、村民の生活に密着した、共に生きなければならぬ生活基盤の中から、自然に生まれた連帯観であり、従って苦しみも悲しみも共に分け合う、非常に強い連帯意識によって支えられていたと思っております。

◆分割は特別委員会を設置
こうした時期、更に香川地域の人口が増加する中で、各地域の活性化のため、分離分割をおし進めなければならぬと思っております。ただ、分離分割に関しては、分割の線引き、自治会館の利用、広報、香川のメインである香川駅環

境整備、神社の取扱いなどクリアしなければならぬ問題が多くあります。早期の分割に向けて努力しなければならぬと思っておりますが、香川地域全体の将来へ向っての問題でもありますので、特別委員会等を設置し、慎重に対処していきたいと考えております。

◆自治会役員の出選について
もう一つの問題は、自治会役員や町内会役員の出選方法であります。現在その選出には、町内会長や地区評議員が懸命な努力をされておりますが、なかなか候補があげられず、大変な苦勞をしております。

三千世帯を超える住民の中には、有能な方は相当におられると思っております。が、情報が余り得られず困っております。ここに至っては、各地区住民の推薦か、指名委員会を構成し、選出していくか、今後検討していかなければならぬ課題であると思っております。



発行 香川自治会広報委員会
印刷所 (有)スエカネ印刷

をあげたいと考えておりますが、特に本年度以降は、どうしても考えなければならぬ問題は私が年頭の挨拶の中でも触れておきました、香川自治会の分離分割問題であろうと思っております。
平成9年1月現在、香川の世帯数三五八六、人口一〇九〇九人これは足柄下郡真鶴町の世帯数三二五九、人口九五七一人(平成8年12月現在)の町を上廻り、本年度以降、このマンモス化は、更に進む状況にあります。

昭和10年代、香川の戸数は約90戸、人口はおよそ300人を数える、小さな農村でした。道路は舗装のない砂利道、農道は車の輪立ちだけを残す道芝が生え、物を運ぶにも、歩行にも大変困難な時代でもありました。農閑期には、地域選出の町会議員に頼み、町より砂利を貰い受け、道路に砂利を敷く道路普請、農道の草刈り、神社での祭典のための職立て、神楽殿作りなど、これらは総て村を挙げての大作業でありました。

今、こうしてマンモス化した香川地域全体に、昭和10年代の連帯観を望むことは当然無理であり、ナンセンスという外はないように思います。しかし、マンモスであるからしかたがないという理論は成り立ちませんし、だからこそ、別の意味での連帯意識の構築や定着方法(小単位化)を考えなければならぬと思っております。幸い、今各町内会での防災対策の取り組みがあります。各町内会の取り組みは防災という意識の中に、それぞれ地域の特性を持っており、またそれぞれの連帯観が芽ばえつつあるように思っております。

◆自治会役員の出選について
もう一つの問題は、自治会役員や町内会役員の出選方法であります。現在その選出には、町内会長や地区評議員が懸命な努力をされておりますが、なかなか候補があげられず、大変な苦勞をしております。

平成8年度自治会館特別会計決算報告

(1996年4月1日～1997年3月31日)

(単位：円)

収入総額	支出総額	差引残高
2,646,348	2,535,957	110,391

平成9年度自治会館特別会計予算

(1997年4月1日～1998年3月31日)

(単位：円)

収入総額	支出総額	差引残高
1,491,391	1,491,391	0

収入の部

(単位：円)

科 目	平成8年度決算額	平成9年度予算額
繰越金	155,643	110,391
会館使用料	1,107,005	1,100,000
駐車場収入	252,000	250,000
雑収入	31,700	31,000
繰入金 <small>(自治会館償却引当金より)</small>	1,100,000	0
合計	2,646,348	1,491,391

支出の部

(単位：円)

科 目	平成8年度決算額	平成9年度予算額
会議費	10,270	25,000
自治会館償却引当金	100,000	100,000
電灯電力料	314,636	350,000
電話使用料	63,178	65,000
水道料	23,152	30,000
下水道料	0	40,000
光熱費	80,978	90,000
備品費	150,000	100,000
事務用品・消耗品費	23,857	30,000
清掃費	59,995	70,000
修繕費	33,891	35,000
駐車場借地料	270,000	270,000
駐車場管理費	24,000	24,000
建物更生共済保険料	241,200	241,200
管理員謝礼費	1,100,000	0
予備費	40,800	21,191
小計	2,535,957	1,491,391
繰越金	110,391	0
合計	2,646,348	1,491,391



評 議 員 会

来年度の役員改選等について 評議員会で熱心に討議

4月19日(土)、午後7時から自治会館で、評議員会が開かれた。議題は、

(1)平成8年度の事業報告と決算報告について

(2)平成9年度事業計画と予算案について

(3)その他

まず自治会長の挨拶があり、「人口増が見込まれている現在、マンモス自治会を分割することを研究する時期にきている。数年前に検討委員会が設けられ、試案を提出したが、時期尚早というので一蹴されてしまった経緯もあり、あちこちの自治会の様子を聞いて善処したい。また来年度は役員改選の時なので、選出方法について考えねばならない。」など話された。

会計についても、未加入の方には加入を勧めて増額をはかるように努めてはどうか、町内会への配分を世帯割にしてはどうか、役員選出は指名委員会を作って決め方がよい、長年自治会に関係し

た人が適当とはいえないとか、活潑な意見がかわされた。

評議員は地区の組長が選出するのであり、互選で議長及び副議長をきめることになっている。

評議員の役割について

評議員議長 熊沢政吉

去る4月19日執行部提案の平成9年度自治会活動計画案、一般会計案が評議員会で可決され、9年度自治会活動が始まることになりました。自治会評議員議長をお受けして1年この間、評議員、役員の皆様方にはご協力いただき誠に有難うございました。

残り後期1年も皆様方のご協力をたまわり、執行部皆様と有意義な意見交換を交わしながら、香川自治会運営のために、微力ながら努力して行きたいと思っております。

さて、ここで私達評議員の役割活動等について会員の皆様方にご

理解いただくために、一部ご紹介させていただきます。

私達評議員は組長の代表、会員の代表として執行部提案の検討、議決、会員の皆様のご意見、質問、要望等を提案、議決するものです。

評議員の役割の中で、年度活動計画予算の検討が大切なことである事はもとより、2年目毎の自治会役員選出が非常に難しく、また人間関係と絡んで、難しい面が多々あり、大変であるというのが私の実感でございます。

先日の評議員会の席上において、自治会規約改正(自治会長、町内会長選出方法)をテーマに、評議員執行部と一部の方で、検討してはいかげなものかと発言があり、次期評議員会(10月)に執行部案として提出するようにお願いし、会員の皆様にも納得していただければ、実行していただきたいと願っております。

香川は茅ヶ崎一番のマンモス自治会(平成9年2月1日現在世帯数

町内会役員選出について

評議員 長谷川泉太郎

平成9年度事業計画並びに予算も決まり今年度の業務活動が始まりました。私も評議員を一年務めさせて頂いた浅い経験ですが、感想を述べさせていただきます。

たたかいてご支援とご指導をいただきながら、ご要望に添えるよう改善をはかり、この重責を果していきたいと思っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

先ずは今迄の役員さんの労をねぎらうと共に、何故毎年同じ人が役員を繰り返さなければならぬのか。規約、会則等の見直し、及びシステム分析が行われていないのでしようか。前年度も評議員の志沢氏から一つの叩き台が提案されていますが、私も提案させて頂きました。

例えば七の専門部会(総務・会計・文化厚生・広報・環境整備・衛生・ふれあい等)を各町内から仮に一部会3名×7部会=21名。(第2町内会の例で91組91名の組長の中から評議員選出と同じ要領で)専門部会構成の常任委員として選出します。常任委員の任期は評議員と同様です。(合せて誰でも出来るように各専門部の業務マニュアルと、引継ぎの徹底)

また、前述の21名を個々の希望を聞きながら、七の部会に振り分ける。次に各部会3名×4町内=12名の互選で、委員長を選出する。今日、企業でもボランティアの参加を奨励しています。まして、これは自分の住む町内の問題です。役員を経験して問題意識、参画意識の向上と動機づけにより、役員の老令化とマンネリ化を解消しましょう。また、組長の任期と役員任期との整合性。

その他の問題は、経験豊かな総務の方で検討され、トップダウンでなく、皆様一人一人のポトムアップを目指しましょう。(検討の段階で評議員からも参加します。香川自治会向上の為の努力は惜しみませんので、よろしくお願ひ致します。

委員の交代

(1) 衛生委員交代のお知らせ
衛生委員の梅沢啓子さんが、一身上の都合により、三月末日で退任されました。

後任には、山宮弘さん(香川一三〇三番地、TEL5117584)が委員にられました。

また衛生副委員長は、石井直さん(香川2113番地、TEL5213240)にきまりました。
(2) 環境委員会でも、交代がありました。

副委員長の栗原昇さんがご病気のため、委員を辞退されましたので、酒井宗八郎さん(香川一五九四一三番地、TEL5211726)が、後任にきまりました。以上、お知らせいたします。

香川自治会館の新しい管理人さん紹介

久保ふみ子さんです。よろしく
お願い致します。



久保ふみ子さん

浜降祭は7月20日 諏訪神社の大祭は7月27日

香川県の無形文化財に指定されており、暁の祭典として名を知られた、浜降祭が、今年から7月20日の「海の日(祭日)」に行なわれることになりました。

また、香川の鎮守、諏訪神社の例大祭は、7月27日(日)に行なわれます。

したがって、前日の26日(土)は、祭典準備 夕方からの宵宮祭には、劇団勝太郎一座による芝居が上演されます。皆さんのご奉仕、ご参拝をお願い致します。

なお、おわしくは、後日回覧でお知らせ申し上げます。(神社代表 役員・伊東治尊)

外国の山を見て 日本の山を憂う

衛生委員長 榎本正明

青春時代からの唯一の趣味であった登山は、今なお継続して、余暇をみては、のこのこと出かけて行きます。昔その行動の多くは、突発的で、無計画な行動パターンが常でした。

私の場合、登山者というよりも、山乞食といった方がピッタリのような気がします。こうした趣味がこうじて、近頃では外国の山まで足をのばすようになりました。カナダ、ニュージーランドとそれぞれの山をたずね歩いたのですが、いづれも素晴らしい一言につきる所ばかりでした。

そうした中で感心した事は、どの国の山も、コースはもちろん、山頂に至る迄、ゴミという物のたぐいを見なかつた事です。ビン、カンはいかに及ばず、ビニール袋などまったく皆無であった事です。これは何を意味することかと考える時、いうまでもなく登山者のマナーが徹底している事の証であるかと判断しました。反面で思った事は、日本の山岳路には、多くのゴミが捨てられている現状を見て、まだまだ日本人登山者のマナーは、外国とは比較にならない程にレベルが低いと言えらると思います。またこうした要因を作っている要素の一つに、日本の豊富な食文化と、それを扱う人間性にもあるように

も思えます。人が見てなきやい、いだろう、人の目につかない所ならかまやしない、的感覚がそうさせる事だと思えます。更にこうした要因に拍車を掛けているのが自動販売機などではないでしょうか。ちなみに外国では自動販売機はまったく目にしませんでした。

ともあれ、ここは日本、外国の話を持ち込まれても困る話だよ!! などと言わず、一度じっくりと考えるともよいと思えますが...

我が家の地震対策

第二町内会 勝又嘉久

地産団地の一角に住む勝又さん宅を、広報委員二人で訪問しました。勝又さん宅は御夫婦とご長男ご長女の四人暮らしでしたが、ご長女が嫁がれて、現在は三人で暮らしておられます。平素の地震対策を伺ってみました。

一般の人と同様に地震袋にカンパン、軍手、懐中電灯、プラスチックのコップ、お皿、貴重品袋等を入れて、常に目に見える場所において置きます。ヘルメットは家族分置いて、懐中電灯は外出する時は必ず持って歩くようにしています。勤務先でもいつも地震対策の話は会議で取り上げています。

ちよくちよく地震があると、それが慢性化して驚かなくなっているの、グラッときた時の注意が一番必要なのではないのでしょうか。十年前に建直した時に、地震対策は考えて建築依頼してあったので、少しは安心してはいます。我が家の特徴としては、寝室に家具類は置かないようにしています。一つの部屋にいろいろな物を置いて、他の部屋はなるべく大きい物は置かずに、広々と利用すること

住宅建設が急ピツチ!

あちこちに分譲住宅が

合理的に住みよい街を

この所、駅前分譲住宅工事ははじめ、町内のあちこちで、住宅建設が急増している。

昭和20年代には、樹木がうっそうと繁り、ふくろうが鳴き、狸の住んでいた山も、すっかり平らになり、すてきな家が建ったり、テニスコート、プール、レストランなど、近代的でモダンな建物ができて、すっかり都会化してきた。木造の小さな駅も、KAGAWA Stationとなり、電化、自動改札となったりして、昔を知る者たちにとって、隔世の感がある。

北部開発事業が完成すれば、住宅や親水公園もできて、別天地となる。



建設工事の進む現地

語って下さいました。地震はいつグラッと来るか分らないので、日頃の地震に対する注意が一番大切であり、又必要なのではないでしょうか。家族の話し合いも大切だと思えます。

なるだろう。

ここだけでも一千戸の戸数が見込まれているのだから、香川の人口は、増加の一途をたどり、町内会の分離、分割は必至といえる。

それまでには従来のように道路を境に分けるとか、飛び地をなくすとか線引きをどこにするかなど難しい問題があるけれども、みんな知恵をしぼって、合理的に住みよい街作りを考えよう。

香川の皆様、お元気ですか

山口武広さんからお便り

「まだ郷里へ帰る気がしない」と、4月4日の朝、迎えのタクシーが来るまで、会館のことを気にして仕事をしつらつした前、自治会館管理人の山口武広さんから、このほど広報委員長の許に、お便りが届きました。

「香川の皆様、お元気ですか。こちらに着いても、荷物整理に追われて、忙しくしています。こちらは「日本一のあんずの里、花さか村」という看板もたてられ、あんずの花がまっ盛りです。とてもきれいで、自宅から車で10分位で、行くことができます。まだわらわき屋根の家も残っています。



あんずの里で娘さんと山口さん

香川におりました時は、たいへんお世話とご交誼に預り、厚くお礼申しあげます。過ぎた20年間、住みなれた香川は、いつまでも心に残る、思い出の地となることでしょう。

今後とも、よろしくお祈りいたします。

自治会長さんはじめ皆様方のご健康とご多幸を、心からお祈りいたします。

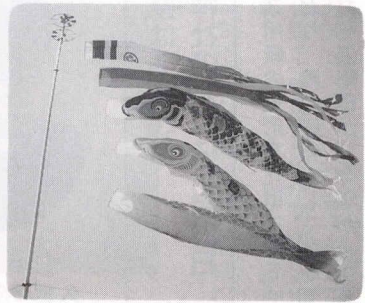
毎年戸数もふえ、宅地造成も進んでいる香川。自治会のますますのご発展をお祈りします。

また、信州へご旅行の折、上山田、戸倉、戸隠など近くにお出での節は、お立ちより下さいますよう、お待ち申しあげます。

長野県更埴市栗佐

山口武広

風薫る五月、高く泳ぐ鯉のぼり 色とりどりに 百花らん漫



鯉のぼり



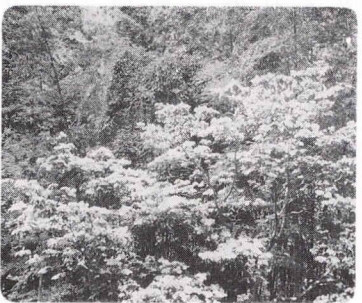
藤の花



君子らん



鉄線花



花みづき

百花らんまん美しい好季節を迎えて、どのお宅でも、いろいろの花が咲き乱れ、町内がとも明るく和やかな気分が満ちあふれています。鯉のぼりが大空高く泳ぐ、好天のある日、町内をまわって美しい花を撮影しました。鮮やかな橙色の君子らん、みごとに垂れさがる藤の花房、純白の清楚な鉄線花、美しく開いた花みづき。どれも皆、鮮やかな色彩で、感嘆の声をあげ、しばし見とれる。香川の花めぐりをしながら、町内をひとまわりするのも、楽しくて健康にもよかったです嬉しく思いました。カラーにできぬのが残念。

長島久江

膝の兒に欠伸をもらふ花疲れ
西行祭の俳句大会で高感であつたと聞き、成程と思つた。幼児を膝に花疲れを癒している様子が目の前に見えてくる。花疲れの季節の働きであろう。

藤村球子

たたみ皺斜めに残る春裕
裕の季節になって、去年仕舞つた着物を取り出したが、きちんとたたんだつもりなのに斜めに大きく皺が残っている。仕舞込んだ時分の様子に思いをめぐらせているのだろう。

俗 百合子

日々届く遍路の夫の旅だより

二・三人の仲間タクシーや団体で廻るバス遍路が多くなつた分、歩いて廻ると言つて出掛けた主人の、寺からの便りを心待ちにして、留守居をする妻の、旅の無事を願う気持が伺えて佳い。

俳句 茅花会

平塚司郎選

神苑の沼涸れており菖蒲の芽

石田カツ子

青空の白きをゆきて薄暑かな

秋とはちがって春から夏に移

ときの晴天は真つ青ではない。誰も気が付いていながら言葉にできなかったことを「白きをゆき

香川 事業計画

実施日 行事種目

- 5月25日 男女混合バレーボール大会、町内対抗種目、会場 香小体育館
- 6月8日 卓球大会、町内対抗、会場 香小体育館
- 6月15日 市民バレーボール大会、男女参加、会場 市総合体育館
- 6月29日 町内対抗種目、会場 香小体育館
- 7月27日 男子ソフトボール、女子キックベースボール大会、町内対抗、会場 台中グラウンド
- 10月5日 第29回香川地区体育大会、雨天時、10月10日、会場 香小体育館
- 11月9日 第9回香川公民館まつり、もちつき、バザー、会場 香川公民館広場
- 11月16日 市民インディアアカフェ、スティバル大会、男子、女子、混合参加

香川 フォトクラブ 加入のお誘い

当クラブでは、毎月第4土曜日に例会を開き、神奈川県写真報道連盟他の審査員の堀田義夫先生と写真家の小西昭夫氏を講師にお迎えして、会員の作品について、批評や指導をいただいております。写真の好きな方、これから始めてみようと思っておられる方など、ぜひご加入下さい。年二回、会員の希望で撮影会を行っており、4月には臨海副都心に出かけて造型的な、すばらしい写真をとって来ました。また、6月と12月には、コンテストを行って技術の向上や、鑑賞力を養っています。みなさまのご加入をお待ちしております。入会ご希望の方は、左記へご連絡下さい。

伊東信子 52-7422
真崎彰夫 52-14036
石井 栄 51-8669

5月5日は、5と5を重ねることから重五、菖蒲を用いることから菖蒲の節句ともいわれている。菖蒲は薬草で、邪気を避け、悪魔をはらい、また火災をも除くという古くからの信仰があつて、節句にはよもぎと共に軒にさし、或はふるに入れて菖蒲湯にした。武家時代になってからは、菖蒲が「尚武」と音が通じるために喜ばれた。端午の節句は本来、中国から伝わったとされ、早くから日本の上流階級にまねられていた。中国の戦国時代、楚の王族で詩人だった屈原は博学多識で、政治の道に通じ、王の信頼が厚かったが上官大夫と法合作成上の事で争い王にきらわれた。彼は邪悪の人が重用され正道の行われない事を憂い、その悲しみの心を「離騷」という詩に表現。遂に江南に流され憂愁のうちに汨羅に投身自殺した。そして鯉になつたといわれる。人は彼の死を悲しみ、ちまきを作つて霊をなぐさめたという。現在でもここに、屈原の祠と銅像が建ち、多くの人の参詣が絶えない。旧暦5月は田植で大切な時期だったので、匂いの強い蓬や菖蒲を軒にさし邪気を祓つたのだ。

訃報

(平成9年 5月1日現在)

- 板橋 弘様 67才 3月12日 第4町内会 8組
- 山田 邦子様 52才 3月20日 第一町内会 7組
- 渡辺 昌子様 79才 3月21日 第四町内会 22-1組
- 長崎 眞一様 75才 第二町内会 29-1組
- 杉井 眞一様 71才 4月5日 第二町内会 44-1組
- 小俣 博信様 72才 4月8日 第三町内会 1-3組
- 松井 一三様 58才 4月9日 第三町内会 30-2組

端午の節句の起源

5月5日の男児の出生、成長を祈つて、鯉のぼりを立て、武者人形を飾る風習は、江戸時代から始まった。5月初めの午の日の意。